

会報

KAI-HOU

No.363
2023.3.15



OCoNoMi おおさか若手職員合同研修

[開催報告]	2022年度第5回理事会	1
[開催報告]	2022年度大阪府消費生活協同組合優良役職員表彰	2
[開催報告]	OCoNoMi おおさか若手職員合同研修	6
[参加報告]	第30回ワン・ワールド・フェスティバル	7
[連載]	「サラダボウル~ひとりひとりが輝いて」	8
[スケジュール]		11

大阪府生協連 2022年度第5回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2023年1月19日(木) 15時～15時55分
II. 場所 大阪府社会福祉会館 5階503
III. 出席者
(1) 理事（総数24名中、23名出席、1名欠席）
(2) 監事（総数3名中、1名出席、2名欠席）
(3) 陪席（1名出席）
IV. 議長 タン会長理事
V. 議事の経過と要領とその結果

審議事項

1 第62回通常総会の件

小山事務局長より、議案書1次案として2022年度活動報告及び2023年度方針案について提案がされ、別途意見集約し、次回理事会で2次案を審議する旨提案がされた。

また、各分野別概況の原稿執筆を担当する理事等について提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

2 2023年度年間日程（第2次案）の件

小山事務局長より、2023年度年間日程（第2次案）について提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

3 70周年企画の件

小山事務局長より、大阪府生協連が2023年度にて創立70周年を迎えるにあたり以下の通り提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

- (1) 記念式典の開催
開催日時 2024年1月18日(木)11時～14時予定
開催場所 都シティ大阪天王寺
- (2) 記念誌の発行
- (3) 2022年度決算にて「70周年企画資金積立金」500万円（予定）積立

4 こくみん共済coop大阪推進本部からの後援名義使用要請の件

小山事務局長より、こくみん共済coop大阪推進本部からの要請を受け、同生協が実施する「第39回子ども絵画コンクール」及び「防災アトラクション」を後援し、「第39回子ども絵画コンクール」では入賞作品の一点に大阪府生活協同組合連合会賞を交付する旨提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、平尾常任理事から補足説明があった。

報告事項

報告事項

【大阪府生協連】

1. 各委員会
(1) 生協大会実行委員会
(2) 健康チャレンジ実行委員会

【日本生協連、他生協等】

2. 日本生協連全国方針検討集会

【会員及び友誼団体等】

3. 消費者支援機構関西（KC's）
4. なにわの消費者団体連絡会
5. 全大阪消費者団体連絡会
6. O C o N o M i おおさか
7. 大阪みどりのトラスト協会
8. ホットネットおおさか（大阪府下避難者支援団体等連絡協議会）
9. 日本協同組合連携機構（JCA）

年5月22日同病院院長に就任され、高齢者医療や、中河内地域での本格的なリハビリテーション医療展開の基礎を作られた。また病院内だけの医療提供だけでなく、地域の中での在宅医療や予防健診活動等、組合員とともに地域での健康づくり・健康なまちづくりの為に学習会の講演や健康チェックなど積極に行い現在も継続している。

2000年5月21日に東大阪医療生活協同組合理事長に就任し、2003年5月15日には日本生活協同組合連合会の医療部会運営委員長に就任、2010年9月1日に日本医療福祉生活協同組合連合会の立ち上げに尽力し初代会長を努め、全国の医療福祉生協の病院診療所活動や健康づくり活動を推進、その発展に貢献した。

また、国際的にWHOやICAと連帯した取り組みをすすめWHO世界保健デーの取り組みや「高齢者にやさしい都市プロジェクト」推進、ICA総会への参加など世界・アジアでの協同組合運動に貢献した。1999年にはネパール・フェクトへの医師として派遣され、医療活動に従事した。2014年6月15日より医療生協かわち野生活協同組合副理事長及び、楠根診療所所長に就任し地域医療を守り子どもから高齢者までの医療や保健予防活動や医療学習会の開催等、健康なまちづくりの為に奮闘している。2019年度末から発生した新型コロナウイルスへの対応もいち早く発熱外来の取り組みや、コロナワクチン接種など積極的に行っている。

【ご本人からのコメント】

医療生協かわち野に入職して47年近くになります。

この間、医療生協の組合員さんや役職員に支えられて何とか職務を全うすることができました。本当に感謝しています。

そして、全国の医療生協の組合員さんとの触れ合いやAPHCO,IHCOなどで世界の協同組合と関わりを通じて、協同組合の原則と理念を学ぶことができ、私の医療観や健康観につながったように思います。

特にICA総会での「世界の協同組合が連帯すれば地球温暖化などから地球を救うことができる」とのメッセージに感動したことが忘れられません。

「競争より協同」そして「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く未来を切り拓く」この理念をしっかりとって今後とも命あるかぎり頑張りたいと思っています。



医療生協かわち野生活協同組合 理事・医療生協八尾クリニック所長
大井 通正さん

1991年5月13日東大阪生協病院にリハビリテーション専門医として入職。1991年5月26日に東大阪医療生活協同組合（現医療生協かわち野生活協同組合）の常勤理事に就任し医療事業や生協活動等の発展の為に尽力を發揮した。2000年1月1日に東大阪生協病院院長に就任し、医

療活動はもちろんのこと、リハビリテーション専門医として中河内地域初となる回復期リハビリテーション病棟の開設を手がけた。介護保険での通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション等積極的なリハビリテーション活動を推進した。2006年3月1日に医療生協八尾クリニックの所長に就任し、八尾地域の医療・介護活動の展開、在宅医療等訪問医療等に奮闘され、特に神経難病患者への積極的な在宅医療を展開し、保健所はじめ他の地域病院との連携や八尾市全域で積極的な医療活動を展開し、地域になくはならない診療所として存在している。

八尾市のがん検診、生活習慣病健診や保健予防活動の推進、2019年度末から発生した新型コロナウイルスへの対応もいち早く発熱外来の取り組みや、コロナワクチン接種など積極的に行っている。それらの経験を「患者と家族に寄り添う在宅医療日記」して自書出版されている。

【ご本人からのコメント】

地域の医療生協診療所長として「地域から患者になれない病人をなくそう」を合言葉に、組合員さんとともに健康づくり、健診、外来診療、在宅医療まで地域と生活の場に根ざす医療に取り組んでまいりました。今年是我たちがかわち野医療生協50年の歴史の中で培ってきた健康をつくる、平和をつくる、民主主義を守る協同の輪をさらに大きく広げていく法人合併の年です。ウクライナの戦争は歴史を逆行させない民主主義の力を強めていくことの大切さを教えてくれました。これからも医療福祉生協運動を通してレジリエンスの心を持って世界の人々の連帯と協同、健康で平和な暮らしの実現に力をつくしたいですね。

表彰いただきありがとうございます。



大阪いずみ市民生活協同組合 宅配運営部営業支援グループ本部スタッフ
久保 一博さん

1988年3月に入協後、配送担当として、基本業務、組合員活動等について習得。課題推進においても貢献し2000年より副センター長としてセンター全体のマネジメント、事業達成への貢献、人材育成に貢献した。2002年から支所支援課として仲間づくり活動の支援および教育に従事した。

また、2005年より個配事業推進のため、グループ会社コンシェルジュに出向、多くの人材に関り人材育成に貢献した。2006年から2013年まで営業リーダーとして、事業貢献だけでなく部下育成に関わった。その後、イベント営業チームを経て、現在営業支援グループの教育担当として、新人職員育成を担う。

【ご本人からのコメント】

この度は、優良役職員知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。感謝の気持ちでいっば

いです。誠に恐縮でございます。

いずみ市民生協に入協して35年になり、センター部門・関連会社出向・営業部門・営業教育部門など様々な職種を経験させていただきました。今思い返すと、何度も挫折しかけてましたが、生協職員として続けて来れたのは、未熟な私に対して、温かい声援を送って頂き接していただいた組合員さん・職場の仲間のおかげに他なりません。今回の受賞もこのような皆様の支えがあってこそであり誠に感謝しております。誠にありがとうございます。

今後もより一層感謝の気持ちをもって業務にあたり、組合員さま・職場の仲間に喜んでいただけるよう励んでいきます。今回は誠にありがとうございました。



大阪いずみ市民生活協同組合 宅配事業本部サービスグループ本部スタッフ
中野 床理さん

1985年3月に入協後、泉南支所事務局担当を経て11月より総合企画室、理事会事務局にて、広報を通じて生協を広げる活動に尽力した。

1988年より、商品検査室にて検査スタッフとして商品やサービスの品質向上に尽力した。

2007年3月より組合員活動を担う部署で組織スタッフとして着任し、組合員の自主、自発的な活動の支援、企画を行い、生協の活動の理解を広めるために大きく貢献した。

2005年から営業スタッフを経て、2011年より営業リーダーとして、事業達成への貢献、人材育成に貢献し、その後、エネルギー営業チームを経て、現在サービス事業グループにてコープの補聴器事業に従事する。

【ご本人からのコメント】

この度は、私ごときに、この様な身に余る表彰を賜り恐悦至極に存じます。

入協して早、38年、配送センター事務、本部事務、商品検査センター、組合員さん拡大の営業、組合員活動のお手伝い、電気の営業と様々なお仕事をさせていただきました。生協の仕事をさせていただけたことで私なりに色々な面で成長もさせていただきました。なんの取り柄もない私ですが、組合員さん、先輩、同僚、後輩の皆様から刺激を、ご指導をいただき、また、支えていただき、加えて家族の協力もありここまでやってこれました。これまで関わってくださったみなさまに感謝申し上げます。これからも組合員に笑顔をお届けできる生協として成長、発展できるよう微力ながら尽力したいと存じます。 感謝

OCoNoMi おおさか若手職員合同研修を開催しました

2月24日（金）に、OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）若手職員合同研修を開催しました。この企画は、昨年7月の「2022年国際協同組合デー記念講演会」第2部でのグループ交流「連携で出来る取組みを考える」にて、次世代の育成や教育への意見が多くあったことから企画しました。

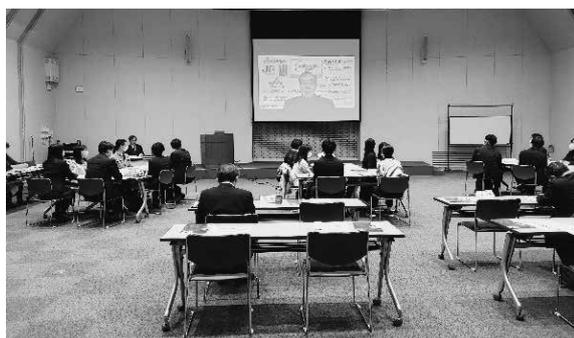
今回は7団体から17名の次代を担う職員が参加しました。

OCoNoMi おおさかの栗本修滋会長（大阪府森林組合 代表理事組合長）からのビデオメッセージでの開会挨拶の後、摂南大学農学部教授で日本協同組合学会会長の北川太一様を講師に、「協同組合・非営利協同セクターの社会的役割」と題して講義をしていただきました。北川先生からは、「協同組合はなぜ存在するのか？－問われる「非営利」のアイデンティティ（存在の証）－」「協同組合への注目と期待」「アイデンティティの確立に向けて、私たちは何をすべきか？～「レイドロー報告」の提起から学ぶ～」「おわりに～私たちがめざすべき社会と協同組合の役割～」について、約60分お話いただきました。

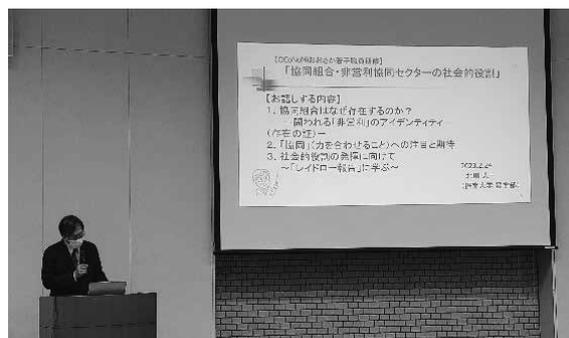
講義の後の、グループワークでは、「夢のある妄想大会」をテーマに、「私が我が組織のリーダー／幹部／トップになったなら、こんな事業をしたい！こんな組織にしたい！こんな風な持続可能な組織にするぞ！」について、交流しました。

各グループからの報告を受け、北川先生に講評いただきました。

最後に、「研修を通じた気づき・まなび」「今日からやること宣言」を全員発言し、集合写真を撮影して終了しました。



開会挨拶（栗本会長）



講義（北川太一教授）



グループワーク



集合写真

第30回ワン・ワールド・フェスティバルに参加しました

西日本最大級の国際協力のイベント「第30回ワン・ワールド・フェスティバル」が、2月4日（土）・5日（日）の二日間、3年ぶりにカンテレ扇町スクエア、北区民センター、山西記念福祉会館、扇町公園で開催されました。

大阪府生協連が参加する OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）では、セミナーの開催と、活動紹介ブースを出展しました。

セミナーは「SDGs × 新たな働き方と地域づくり」をテーマに、2022年10月の労働者協同組合法の施行を受けて、世界の労働者協同組合（ワーカーズコープ）運動の実情を学び、大阪におけるワーカーズコープの実践報告を通して、大阪での協同組合と非営利協同セクターの連携による取り組みについて考える企画として2月4日に開催しました。

活動紹介ブースでは、OCoNoMi おおさか構成団体のSDGs活動を紹介しました。各団体の取り組みを当てる「SDGsクイズ」を実施し、参加者には大阪府漁連を通して、NPO 法人大阪府海域美化安全協会から、ご提供いただいた「海辺の生き物消しゴム」などをプレゼントしました。ブースには二日間で約450人が立ち寄っていただき大盛況でした。



サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

大阪府生活協同組合
会長理事 タンミッシェル

先日、英字新聞 Japan Times (2022年12月5日付) に掲載された「女性に関する課題は政策の最上位に位置づけを」と題する記事に目をひかれました。その内容は、日本政府の主催で昨年12月3日に東京でジェンダー平等の達成をテーマに開催された「国際女性会議 WAW! (Women's Assembly for Women)」についてのものでした。初耳の「WAW!」に関心を持った私は、早速調べてみることにしました。以下に、調べて分かったことの一部を簡単に紹介したいと思います。

人の注目を引くテーマの国際会議なので、多くのマスコミなどに取り上げられたはずだと思いますが、ネットを含めて期待したほど多くの情報は得られませんでした。国際女性会議 WAW! についてが一番詳細な内容は、開催についてなら外務省、その政策的な背景については内閣府の男女共同参画局の、それぞれの WEB サイトに掲載されています (一部の地方自治体のサイトにもある程度の情報が掲載されています)。

まず、外務省の WEB サイトでは、国際女性会議 WAW! は「日本政府の最重要課題の1つであるジェンダー平等と女性のエンパワーメントを国内外で実現するための取組の一環として2014年から開催しており、世界中から幅広い分野で活躍するトップリーダーを招き、日本や世界が直面する様々な課題につき議論し、その成果を国連文書に登録するとともに、種々のサイドイベントを行い、国内全体でジェンダー平等に向けた気運を高める取組」であると紹介されています (注1)。一方、2014年という、女性活躍推進法が成立した前年に当たります。同法律を所管する内閣府の男女共同参画局の WEB サイトで、当時の安倍政権が、女性が輝く社会の実現という目玉政策を促進する中、「女性の力を成長の源泉に」を共通テーマのもと、2014年9月、第1回「国際シンポジウム WAW!」(第3回から現在の国際女性会議 WAW! に改名)を開催したこと、およびその政策的な背景が分かりました (注2)。

今回の第6回会議は、コロナ禍の影響により、ほぼ3年ぶりの開催となりました。ジェンダー平等の分野で活躍している内外のトップリーダーが参加し、今回の共通テーマとなった「新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」について議論をしました。開催にあたり、冒頭に挨拶を行なった岸田文雄首相は、コロナ禍中での女性に対する暴力の増加、医療や介護などの感染リスクが高い現場でエッセンシャル・ワーカーの大半を占める女性の過重労働、ウクライナ侵攻でのロシア兵による女性への蛮行などの問題を挙げ、今なお女性・女兒の社会的格差やジェ

ンダー不平等の問題は多いと指摘し、あらゆる分野における女性の視点を取り入れる政策を推進すると表明しました。また「誰しものが生き生きと暮らせる社会」を実現するために、重要な政策の一つである女性の経済的自立を推進する上で、ジェンダー平等の取り組みへの男性の積極的関与や男性の育休（いわゆる父親の産後育休）取得の重要性を強調しました（注3）。

続いて、ジェンダーギャップ指数（Gender Gap Index）で13年間1位を維持しているアイスランドのグズニ・ヨハンネソン大統領は、「ジェンダー平等が、SDGsの中に5番目の目標として含まれているのは、公平さ・公正さや人権という理由だけではない。私たちが全ての権利・機会をもつならば、そして何ができるか証明する機会が与えられるのであれば、社会全体が利益を得る。さらに、人々は家庭内の責務が共有されれば、人々は各々の仕事で一層の成功を収めることができる。」と述べました。ヨハンネソン大統領によると、ジェンダー平等の達成は、人権のみならず、経済成長・繁栄や国の競争力向上につながります。さらに、自国の例を挙げながら、1980年に初の女性大統領が就任したことを転換期として、半世紀弱の短い期間でも変化が可能であると述べ、「必要なのは変化を引き起こす意志だけだ」と呼びかけました（注4）。

また、2020年にモルドバで初の女性大統領に就任したマイア・サンドゥ大統領は、ジェンダー平等を実現するために、クォータ制度（一定の人数を割り当てること）の重要性を指摘し、2016年に制定された法律では、政党および内閣の候補者の40%が女性でなければならないことを紹介しました。さらに、女性の政治家が増えたことで、女性が直面する様々な課題に対応しやすくなっており、女性の政治参画の重要性を強調しました。

国連4機関を統合した「国連女性機関（U.N Women）」のシマ・バフース事務局長から、「SDGs 5番目の目標は、SDGsの達成目標年である2030年までに実現しなければならないが、現在の速度では、世界のジェンダー平等には約300年かかる」という驚くべき最近のデータの紹介がありました。現状を改善するには「私たちは、女性が意思決定への参画や指導的地位に就く機会を確保するためのクォータ制などの特別措置を含め、あらゆる手段を講じる必要がある」と訴えました（注5）。なお、ヒラリー・クリントンさん（米国元国務長官）、ジャシнда・アーダーンさん（当時のニュージーランド首相）、ウルズラ・フォン・デア・ライエンさん（欧州委員会委員長）などの要人からもビデオメッセージが送られました。

一方の分科会では、賃金格差、起業、STEM（科学・技術・工学・数学）教育、健康と経済、平和・安全保障、防災などの個別の課題、および特別セッションでは、農村地域に住む若者や女性に関連する課題を取り上げ、パネルディスカッションを行いました（注6）。

登壇したスピーカーの提言は「東京宣言 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化～WAW！参加者からの提言総括～」にまとめられました。この中で、環境、エネルギー、金融、安全保障など、あらゆる分野の政府や企業による意思決定においてジェンダーの視点を取り入れるために、6項目にわたり取るべき行動が列挙されています（注7）。最近、日本で特に注目されている経済・政治分野について、企業にはクォータ制を含むKPI（重要業績評価指数）の設定と開示義務、ならびに政治分野におけるクォータ制度の導入も盛り込まれています。

最後に、若干の個人的な感想を述べてペンを置きたいと思います。内外のジェンダー平等の達成を目指して2014年に始まった国際女性会議WAW！は前述のとおり、合計6回も開催されています。その間、日本のジェンダーギャップ指数は、どのように変動したかということ、2014

年に142ヶ国中104位、2022年には146ヶ国中116位と低いスコアが続いています。結局、8年間の取り組みを通して、日本のスコアは1度も100位以内になったことがありません。国際会議で外向けに発信している日本の政策の内容と、国内の実態との乖離を感じて仕方がありません。結局、日本のランキングの足を引っ張っている経済や政治の分野について、ヨハンネソン大統領の重要な指摘である「変化を引き起こす意志」が、日本社会全体に十分に醸成されていないと言わざるを得ません。

それだけでなく、そもそもジェンダー平等は、男性は女性と一緒に考えて達成するものだという、進んだ国の基本的なアプローチが十分に意識されていないと私は思います。日本政府が主催した素晴らしい内容の国際女性会議 WAW! の顔ぶれを見ても、ほとんどと言っていいほど女性が多くを占めています（注8）。ジェンダー平等の達成というのは、社会が豊かになる、全ての人に恩恵をもたらすことがゴールであるとするれば、もっと女性の視点を訴える男性が登場すれば良かったという感想を抱きます。次回の国際女性会議 WAW! に、一層の充実した内容を期待したいところです。

そして、日本社会全体として本気でジェンダー平等に取り組むために、男性の育児休業および父親の産後育休の取得推進のみならず、ワークライフバランスを重視した男性の多様な働き方への積極的な取り組みを、女性のための施策とセットで考える必要があると、今回の原稿を執筆して、改めて痛感しました（注9）。

注：

- 1) 全6回の開催内容などについて外務省のサイトを参照ください。
https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page23_002346.htmlを参照。
- 2) 内閣府男女共同参画局のサイトを参照ください。
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h27/zentai/html/honpen/b1_s00_01.html
- 3) 全文は、下記のサイトに掲載されています。
https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202212/03waw.html
- 4) ヨハンネソン大統領の報告は、ユーチューブの動画で視聴できます（33:45から始まる）。
（英語）<https://www.youtube.com/watch?v=F65R8ejdW48>
（日本語）<https://www.youtube.com/watch?v=VDwjJKYMziw>
- 5) シマ・パフス事務局長の報告は、ユーチューブの動画で視聴できます（46:17から始まる）。
（英語）<https://www.youtube.com/watch?v=F65R8ejdW48>
（日本語）<https://www.youtube.com/watch?v=VDwjJKYMziw>
- 6) それぞれの分科会の内容とパネリストについてプログラムの詳細を参照ください。
https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003904.html
- 7) 女性の経済分野の参画、女性の健康、男性の関心・関与の拡大、意思決定プロセスへの女性の参画、女性の平和・安全保障への参画、若者と地方からの提言。
全文は、下記のサイトに掲載されています。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100448684.pdf>
- 8) 分科会の中で、「男性の関心・関与の拡大」はその例外です。
- 9) 関連のテーマとして、本誌の第348-350号において「日本の男女平等について改めて考える」と題する3回連載記事を執筆しています。大阪府生協連のサイトからアクセスができます。
<https://www.osaka-union.coop/report/new/kaihoujouhou.html>

スケジュール

3月

- 1日(水) 第6回文楽・コンサート実行委員会
- 3日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 5日(日) 大和川・石川クリーン作戦
- 7日(火) 消費者支援機構関西（KC's）差止訴訟検討委員会
- 9日(木) 東日本大震災学習会
- 10日(金) 近畿地区生協府県連協議会（和歌山県）
- 15日(水) 会報発行
- 15日(水) 第1回生協大会実行委員会
- 15日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 16日(木) 第6回理事会
- 17日(金) OCoNoMi おおさか世話役打合せ
- 22日(水) 第5回組織活動委員会
- 23日(木) 第5回ジェンダーフォーラム協議会
- 24日(金) OCoNoMi おおさか第16回幹事会
- 28日(火) 消費者支援機構関西（KC's）第12回理事会
- 31日(金) 東日本大震災被災地視察研修（～4月1日）

4月

- 4日(火) 消費者支援機構関西（KC's）差止訴訟検討委員会
- 7日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 19日(水) 第2回生協大会実行委員会
- 21日(金) 消費者支援機構関西（KC's）理事会
- 26日(水) 第4回文楽・コンサート実行委員会
- 27日(木) OCoNoMi おおさか植樹会・第17回幹事会
- 28日(金) 監事会

5月

- 9日(火) 消費者支援機構関西（KC's）差止訴訟検討委員会
- 12日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 17日(水) 第3回生協大会実行委員会
- 17日(水) 第6回組織活動委員会
- 18日(木) 第7回理事会
- 24日(水) 第1回ジェンダーフォーラム協議会
- 25日(木) 消費者支援機構関西（KC's）理事会